

平成22年度事業総括報告

社団法人 秋田県理学療法士会
会長 高橋 仁美

昨年度4月に診療報酬の改定が行なわれた。久しぶりに医療費全体の引き上げが行われ、リハビリテーション料に関しても大幅に見直された。障害者や高齢者などの利用者の皆様により貢献できるようになり、われわれ理学療法士にとっても有利に働いたのではないかと考えている。これを機会に会員一人ひとりがさらなる社会的な実績につなげ、24年度の改定に立ち向かいたいものである。また、11月6～7日に秋田市で第28回東北学術大会を開催した。理学療法士としての原点を見つめ直す機会となり、社会の中で高い信頼が得られる専門職であり続けるための一助になればと思い、テーマを『理学療法魂』とした。非常に多くの方に参加いただき、評判もよく、大成功であった。改めて、会員の皆様に感謝申し上げるしだいである。今後とも、自分は組織に何を貢献できるかを考えていただき、ご理解とご協力をお願いする。以下に事業の主なものについて報告する。

1. 理学療法を通じ、県民の健康増進、疾病並びに障害の予防、高齢者及び障害者支援に資する事業では、メインである2010年理学療法週間公開事業は佐々木雅人実行委員長のもと「肩・腰・膝～痛みに対する理学療法の世界」をテーマに開催した。また、健康・スポーツ支援部の第92回全国高等学校野球選手権大会などのトレーナーサポート活動を展開した。この他、各種研修会、介護保険施設リハビリテーションネットワーク、小児理学療法分野におけるネットワーク、理学療法相談サービスなどを行なった。

2. 理学療法に関する刊行物の発行及び調査研究事業では、秋田県内の患者転院・施設入所に関する情報共有方法についての調査活動、公開事業のポスター、パンフレットなどの作成及び広報、「あきた理学療法の広場」No.16の発行、「秋田県理学療法士会ニュース」の発行（年6回）、機関誌「秋田理学療法」Vol.18、No.1の発行の発行などを通じて行なった。

3. 理学療法における学術及び科学技術の振興に資する事業では、倉田昌一学会長のもと『心疾患リハビリテーションの今後』をテーマとして、第16回秋田県理学療法士学会を開催した。その他、「介護予防のための運動器の機能向上プログラム」、「股関節疾患に対する理学療法～評価・治療戦略の概略と展望」をテーマとした研修会、県北、中央、県南の各ブロック主催研修会、生涯学習新人オリエンテーションなどの生涯学習システム関連の講習会などを開催した。

4. 県民のリハビリテーションに貢献のため関係団体と連絡し、協力する事業では、「人にやさしいまちづくり in 秋田」の共催や、各種関係関連団体等からの講師派遣依頼への協力、諸会議への委員等として派遣等を通じて例年通り行なった。

5. その他、本会の目的を達するために必要な事業については、公益法人制度改革への対応、役員選挙に関する事項、事務局機能の強化、管理運営に関する事務処理、各種表彰に関することなどを行なった。

詳細は以下のごとくである。

社団法人秋田県理学療法士会 平成 22 年度 事業の概要

【 1. 会議】

総 会：第 1 回定期総会 平成 22 年 5 月 23 日 会場：秋田大学医学部
第 2 回定期総会 平成 23 年 3 月 5 日 会場：秋田大学医学部
理事会：第 1 回 (H22.5.1)、第 2 回 (H22.6.12)、第 3 回 (H22.8.21)、第 4 回 (H22.10.6)、
第 5 回 (拡大) (H22.12.4)、第 6 回 (H23.2.5)、第 7 回 (H23.3.5)

【 2. 出版物等】

- 秋田県理学療法士会ニュース No.134～139 (各 600 部発行 奇数月 全 6 回発行)
- 秋田理学療法 Vol.18 No.1 (560 部 平成 22 年 12 月 15 日発行)
- あきた理学療法の広場 No.16 (1,500 部 平成 23 年 3 月 5 日発行)

【 3. 後援、協賛等】

(共催)

- NPO 法人秋田バリアフリーネットワーク「人にやさしいまちづくり in あきたと第 4 回福祉機器展」平成 22 年 11 月 27 日～28 日@アルヴェきらめき広場

(後援)

- (社)秋田県社会福祉士会「第 18 回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会秋田大会」平成 22 年 6 月 5 日～6 日@秋田県民会館
- (社)秋田県臨床工学技士会「第 5 回人工呼吸器安全対策セミナー」平成 22 年 6 月 6 日@秋田県立脳血管研究センター
- 「あきた がん ささえ愛の日」実行委員会『「あきた がん ささえ愛の日」イベント』平成 22 年 6 月 19 日～20 日@アルヴェ
- (社)秋田県臨床工学技士会「平成 22 年度秋田県心電図セミナー (第 6 回)」平成 22 年 7 月 11 日@秋田県総合保健センター
- 秋田県障害者スポーツ協会「第 8 回秋田県障害者スポーツ大会」平成 22 年 9 月 4 日
- 第 21 回東北作業療法学会事務局「第 21 回東北作業療法学会」平成 22 年 9 月 25 日～26 日@秋田アトリオン
- 秋田県介護老人保健施設連絡協議会「第 12 回東北地区介護老人保健施設大会 in 秋田」平成 22 年 10 月 8 日～9 日@秋田キャッスルホテル
- バリアフリーコーディネーター県北部連絡会「講演会」平成 22 年 10 月 23 日@能代市プラザ都
- 秋田県臨床心理会「秋田県臨床心理会創立 20 周年記念公開講演会」平成 22 年 11 月 6 日@秋田県総合保健センター
- 秋田県呼吸ケア研究会「第 17 回秋田県呼吸ケア研究会」平成 22 年 10 月 16 日@アルヴェ
- (財)秋田県長寿社会振興財団「平成 22 年度シーティングセミナー」平成 22 年 12 月 8 日@秋田県ゆとり生活創造センター遊学舎
- (社)秋田県歯科医師会「第 10 回秋田県歯科保健大会」平成 22 年 11 月 14 日@秋田県総合保健センター
- 第 2 回脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会「第 2 回脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会秋田大会」平成 23 年 4 月 9 日～10 日@アルヴェ

【 4. 各種賞の推薦等】

(なし)

【5. 委員、講師推薦、派遣等】

(委員等)

- 秋田市福祉保健部障害福祉課：秋田市介護給付費等の支給に関する審査会委員；長谷川弘一（県立リハ）
- 潟上市：障害者自立支援法における審査会委員（任期：平成 23 年 3 月 31 日まで）；菅原慶勇（市立秋田）
- 秋田市：介護認定審査会委員；山内康子（中通病院）、佐藤峰善（秋大病院）、大場みゆき（中通リハ）、山平斉（秋田赤十字）、山浅勉（秋田組合）
- (財)秋田県長寿社会振興財団：秋田県高齢者総合相談センター運営委員会委員（任期：平成 23 年 3 月 31 日まで）；菅原慶勇（市立秋田）
- (財)秋田県長寿社会振興財団：秋田県介護実習・普及センター運営委員会委員（任期：平成 23 年 3 月 31 日まで）；菅原慶勇（市立秋田）
- (財)秋田県長寿社会振興財団：秋田県介護実習・普及センター介護機器普及事業運営協議会委員（任期：平成 23 年 3 月 31 日まで）；小松しのぶ（ひまわりの里）
- 秋田県健康福祉部：秋田県地域医療連携推進検討会地域連携クリティカルパス専門委員；高見彰淑（秋田脳研）

(講師推薦)

- (財)介護労働安定センター：「介護職員基礎科講習」；佐藤誠（秋田赤十字）
- 東北ビル管財(株)：AIA メディカルスクール「訪問介護員養成研修会（2 級課程）」；佐竹将宏（秋大保健）
- 秋田市保健所：「体力づくり教室」；若狭正彦（秋大保健）
- 秋田市保健所：「ふれあい元気教室」；渡部見（五十嵐病院）、倉田昌一（秋田組合）
- 秋田中央保健所：「パーキンソン病患者会勉強会」；若狭正彦（秋大保健）
- 日本教育クリエイト；三幸福祉カレッジ「福祉用具専門相談員講習」講師；佐藤峰善（秋大病院）

(派遣)

- 県企画振興部総合政策課：「第 2 回秋田県政策評価委員会」（12 月 22 日午後 1～5 時）；若狭正彦 社会局長の傍聴
- (社) 日本理学療法士協会：「包括的会員管理システム説明会の開催案内」（1 月 23 日；東京）；佐竹将宏事務局長の出席

【6. 会員状況】（平成 23 年 3 月 31 日現在）（ ）内前年度

- 正会員数 385 (349) 名、 休会者数 24 (22) 名、 名誉会員数 2 (2) 名
- 賛助会員数 11 (16) 社 [A会員 2 (4) 社、B会員 3 (4) 社、C会員 6 (8) 社]
- 正会員の分布（分類は理学療法白書 2005 年度版による）（ ）内前年度

	会員数	施設数
病院	292 (261)	52 (53)
医療福祉中間施設	56 (49)	35 (33)
福祉施設	3 (2)	3 (2)
身体障害者更正援護施設	1 (1)	1 (1)
児童福祉施設	8 (9)	1 (2)
教育・研究施設	7 (7)	1 (1)
行政関係施設	1 (1)	1 (1)
その他	17 (19)	0 (0)
合計	385 (349)	94 (93)

- 今年度の会員動向（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日） （ ）内前年度
新入会員数 27 (31) 名、復会者数 0 (3) 名、休会者数 7 (11) 名、退会者数 2 (1) 名
転出者数 3 (11) 名、転入者数 17 (10) 名、県内移動者数 45 (55) 名

【7. 慶弔関係】

- 祝電 3 件、 弔電 5 件

1. 理学療法を通じ、県民の健康増進、疾病並びに障害の予防、高齢者及び障害者支援に資する事業

1) 2010 年理学療法週間公開事業の開催

- 実行委員長：佐々木雅人（仙北組合総合病院）
- 事務局：米沢将和（仙北組合総合病院）
- テーマ：「肩・腰・膝～痛みに対する理学療法の世界」
- 主 催 （社）秋田県理学療法士会
- 後 援 秋田県、大仙市、仙北郡美郷町、秋田県医師会、大曲仙北医師会
- 協 賛 社団法人秋田県看護協会、秋田県作業療法士会、秋田県言語聴覚士協会、秋田県医療社会事業協会、NPO 法人秋田バリアフリーネットワーク
- 開催日 平成 22 年 7 月 11 日（日曜日）
- 会 場 大仙市大曲交流センター（大仙市大曲日の出町 2 丁目 7 番 5 3 号）
- 参加費 無料
- 講演 1：「肩の痛みについて」
講師：秋田大学医学部附属病院 理学療法士 畠山和利
- 講演 2：「膝・腰の痛みについて」
講師：羽後町立羽後病院 理学療法士 斎藤功
- 同時開催：（社）秋田県理学療法士会による理学療法パネル展示・理学療法養成校進学相談会・理学療法紹介 DVD 上映・介護予防パネル展示、（社）秋田県看護協会による血圧測定・進学相談、秋田県作業療法士会による作業療法体験・進学相談、秋田県医療社会事業協会による医療・福祉相談、NPO 法人秋田バリアフリーネットワークによるパネル展示、秋田県言語聴覚士協会による言語療法紹介・相談、フクダ電子北東北販売株式会社による血管年齢測定
- 参加者数 212 名（来賓 8 名、一般 149 名、会員 55 名）

2) 2010 年理学療法週間の各事業の開催

- 理学療法を啓発するポスターを会員の勤める病院・施設に掲示した。
- 会員が勤務する病院・施設を会場に介護教室の開催、高校生の理学療法の職場見学への対応、理学療法に関わる相談対応などを実施した。平成 22 年 9 月 6 日に中通りハビリテーション病院で行われた「介護教室」には 88 名の参加者があった。

3) 理学療法相談サービスの実施

- 相談事業
理学療法等のリハビリテーション全般について、E メール、面談、電話等により実施した。相談件数は、100 件以上（電話 3 件、メール 1 件、その他面談等）であった。また、会員・医療関係者からの医療保険制度・介護保険制度改定についての相談や、理学療法士の求人についての問い合わせなどへも対応した。

- 理学療法養成校進学相談会

理学療法士を目指す高校生等を対象に、理学療法週間公開事業時に進学相談会を行い10件の相談に対応した。

4) 小児理学療法分野におけるネットワークの充実

(1) 小児理学療法ネットワークシンポジウムの開催

- 期 日：平成 22 年 10 月 2 日（土） 14:00～16:30
- 会 場：秋田県立医療療育センター 講堂兼視聴覚室
- 講 師：坂本仁氏（秋田県立医療療育センター、医師）、中野博明氏（同、理学療法士）
- テーマ：「あきたの脳性麻痺に対する手術と小児理学療法との連携をみんなで考えよう！」
- 参加者：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など
- 参加費：無料
- 参加者：28 名

(2) 情報交換ノートの作成と検証

- 名称：P-can ノート
- 発行回数：1 回
- 発行部数：2 部
- 発行年月日：平成 22 年 7 月 1 日

(3) 「あきたであそぼう！」の開催

- 内 容：「乗馬セラピーの体験」
- 会 場：ゆり高原ホースパーク
- 日 時：平成 22 年 8 月 21 日（土） 9:30～10:30
- 講 師：佐藤 哲 氏
- 参加者：肢体不自由児 8 名とその保護者、小児福祉部スタッフ 6 名

5) 介護保険施設リハビリテーションネットワークの充実

(1) 介護老人保健施設リハビリテーションネットワーク 2010

- 日 時：平成 22 年 11 月 24 日（水） 14:50～15:30
- 会 場：秋田キャッスルホテル
- 内 容：市民健康フォーラム・自殺対策市民フォーラム～健康あきた市 21～への参加
- 参加者：（介護予防相談 5 名、体力測定 55 名、嚥下体験 28 名）※全て非会員

(2) 介護老人保健施設および介護老人福祉施設 PT・OT・ST 名簿 平成 22 年度版の作成及び送付

- 発行回数：1 回
- 発行部数：95 部（各施設に一部ずつ送付）
- 発行年月：平成 23 年 3 月

6) スポーツ大会でのトレーナーサポート活動

(1) 第 92 回全国高等学校野球選手権大会のトレーナーサポート活動

①秋田大会の 3 回戦から決勝まで

- 日時：平成 22 年 7 月 19 日(月),20 日(火),21 日(水)23 日(金)24 日(土)
- 場所：こまちスタジアム,八橋球場
- 参加人数：延 57 名(会員 53 名,非会員 4 名(作業療法士 1 名, 理学療法学生 3 名))
(内訳:19 日 14 名,20 日 8 名,21 日 13 名,23 日 7 名,24 日 13 名)

- 活動内容：アイシング:投手;45 名, 捕手;3 名, ストレッチング:投手;16 名, 野手;15 校

②第 92 回全国高等学校野球選手権大会における能代商業高校への帯同

- 日時：平成 22 年 8 月 10 日(月) ～13 日(金)

- 試合:8月13日(金)11時～ 能代商業0-15 鹿児島実業
- 場所:宿舎(新大阪ワシントンホテルプラザ)
- 参加者:整形外科医1名, 長谷川弘一(リハセン), 花田定晴(男鹿みなと市民病院)
- 実施者数:延3名
- 活動内容: コンディショニング;延3名,アイシングパック作成,
(2) 第62回秋季東北地区高等学校野球秋田県大会サポートトレーナー活動
- 全県大会の1回戦から決勝まで
- 日時:平成22年9月18日(土),19日(日),20日(月),21日(火),22日(水),25日(土),26日(日)
- 場所:こまちスタジアム,八橋球場
- 参加人数:延50名(会員26名,非会員1名(理学療法学生1名))
(内訳:18日7名,19日8名,20日10名,21日5名,22日4名,25日9名,26日7名)
- 活動内容:テーピング:試合中2名(左上腕、左足部)
- アイシング:投手;50名, デットボール等の外傷に対して7名
- ストレッチング:投手;43名, 野手;38校
- (3) 第8回秋田県障害者スポーツ大会のサポートトレーナー活動
- 日時:平成22年9月4日(土)
- 場所:県立中央公園 陸上競技場
- 参加人数:会員6名
- 実施者数:延32名
- 活動内容:テーピング;1名, アイシング;延3名, マッサージとストレッチ;延32名
- (4) 健康・スポーツ支援部研修会
- 日時:平成22年6月27日(日) 9:30~12:00 会場:山本組合総合病院
- 参加費:500円
- 参加人数:会員37名
- 事業内容
(1)テーマ「トレーナーサポート活動説明会」説明者 花田定晴(男鹿みなと市民病院)
(2)テーマ「ダイナミックストレッチの実際」
講師 長谷川弘一氏(秋田県立リハビリテーション・精神医療センター)
- (5) 市民への出前講演活動
- 目的:市民の健康増進を目的とした啓蒙活動を行う。
- 講師:士会員(当部員中心に選択する)
- 今年度は依頼がなかった。

- 7) 新聞において、「老人月間広告」「障害者スポーツ月間」を利用した当会活動の広報
- 「障害者スポーツ月間」:秋田魁新聞(8月下旬)
- 「老人月間広告」:秋田魁新聞(9月1日)

- 8) 医療保険制度改定、介護保険制度改定に関する情報収集と提供を行った。

- 9) 安全管理体制の整備、促進に関する情報提供を行った。

- 10) 40周年記念事業の実施準備
- 会議を8月20日(於:秋田県立医療療育センター)に開催し、40周年記念事業の内容について、検討を行い、大枠を決定した。

- 11) 国際交流の促進

- 秋田県に訪れる海外の研修生に対する研修事業等について、検討を行った。

2. 理学療法に関する刊行物の発行及び調査研究事業

1) 調査活動とその広報

- 理学療法士が勤務する 94 施設の理学療法士職場長に対し、地域医療連携を円滑にし、より効果的な理学療法を提供することを目的に、「転院時等の患者情報提供書の方法、内容についての実態調査」を実施した。その結果を分析し当会ニュースまたはホームページ等で公開する予定である。
- 理学療法士が勤務する 94 施設の理学療法士職場長に対し、勤務する病院・施設の「医療区分、施設基準等の施設概況調査」を実施した。当会の基礎的情報として保管する。

2) 「あきた理学療法の広場」No.16 の発行

- 発行部数 1,500 部、会員、県外の理学療法士会、行政機関、医療関係団体等に配布
- 発行日：平成 23 年 3 月 5 日

3) 「秋田県理学療法士会ニュース」の発行

- 発行部数 600 部、会員、県外の理学療法士会、行政機関、医療関係団体等に配布
- 発行日：奇数月（年 6 回：No.134～139）

4) 機関誌「秋田理学療法」Vol.18、No.1 の発行

- 発行部数 560 部、会員、県外の理学療法士会、医療関係団体等に配布
- 発行日：平成 22 年 12 月 15 日

3. 理学療法における学術及び科学技術の振興に資する事業

1) 第 16 回秋田県理学療法士学会の開催

- テーマ：心疾患リハビリテーションの今後
- 学会長：倉田 昌一
- 学会準備委員長：伊藤 雄平
- 日時：平成 23 年 3 月 5 日
- 場所：秋田大学医学部総合研究棟 総 6
- 参加費：会員 1,000 円 非会員無料
- 講演：特別講演Ⅰ 心臓リハビリテーションの実際と今後の展望 ～医師の立場から～
講師 松岡 悟
- 特別講演Ⅱ 心臓リハビリテーションの実際と今後の展望 ～理学療法士の立場から～
講師 佐藤 奈菜子
- 演題数：10 題
- 参加者：会員 122 名、非会員 11 名。

2) 第 1 回研修会の開催

- 日 時：平成 22 年 5 月 23 日（日）
- テーマ：「介護予防のための運動器の機能向上プログラム」
- 講 師：大淵修一氏（東京都健康長寿医療センター東京都老人総合研究所）
- 場 所：秋田大学医学部総合研究棟

- 参加費：1,000 円
- 参加者：会員 90 名，作業療法士 14 名，学生 16 名，合計 120 名

3) 第 2 回研修会の開催

- 日 時：平成 22 年 10 月 30 日（日）9：30-12：30
- テーマ：「股関節疾患に対する理学療法～評価・治療戦略の概略と展望」
- 講 師：対馬栄輝氏（弘前大学大学院保健学研究科健康支援科学領域老年保健学分野准教授）
- 場 所：秋田大学医学部附属病院 多目的室
- 参加費：1,000 円
- 参加者：会員 76 名，学生 18 名，合計 94 名

4) 県北ブロック主催研修会

- 日 時 平成 22 年 11 月 13 日（土） 10 時～12 時 30 分
- 会 場 北秋田市民病院
- テーマ：①「人工呼吸器のイロハ」
講師 渡辺 純一氏（北秋田市民病院臨床工学主任）
- テーマ：②「自自動作支援ロボットスーツ HAL®体験講習」
講師 住吉玄一郎氏（大和ハウス営業本部主任）
- 参加費：1,000 円
- 参加者：31 名

5) 中央ブロック主催勉強会

- テーマ 統計基礎コースおよび実践コース開催
- 日 時 統計基礎コース 平成 22 年 10 月 30 日 14:10～16:10
統計実践コース 1 平成 22 年 11 月 10 日 18:00～20:00
統計実践コース 2 平成 22 年 11 月 12 日 18:00～20:00
- 会 場 秋田県立脳血管研究センター 機能訓練室
- 講 師 弘前大学大学院保健学研究科 対馬栄輝氏 （基礎）
秋田県立脳血管研究センター 皆方伸氏、高見彰淑氏 （実践）
- 参加費：2,000 円
- 参加数：10/31 26 名、11/10 19 名、11/12 13 名、計 58 名

6) 県南ブロック主催研修会

- 期 日：平成 22 年 11 月 27 日（土） 14：00～17：00
- 会 場：JA 秋田厚生連 平鹿総合病院 リハビリテーションセンター
- テーマ：ダイレクトストレッチの臨床的応用パート 2
- 講 師：長谷川弘一氏(秋田県立リハビリテーション・精神医療センター)
- 参加費：1,000 円
- 参加者：29 名（会員 26 名、非会員 3 名）

7) 生涯学習システムの充実

(1) 生涯学習新人オリエンテーション

- 開催日時：平成 22 年 6 月 5 日（土）13：00～18：00 参加費：無料
- 「協会組織と生涯学習システム」 参加会員：27 名
講師：JA 秋田厚生連仙北組合総合病院 菅原巳代治氏
- 「職業倫理・管理運営」 参加会員：28 名

講師：秋田大学大学院 進藤伸一氏

- 「理学療法士・作業療法士法および関連法規」 参加会員：26名

講師：県立リハビリテーション・精神医療センター 須藤恵理子氏

(2) 第1回生涯学習講演会

- 開催日時：平成22年8月21日（土）13：30～18：00 参加費：各300円

- 「地域リハ検診における理学療法士の関わり」 参加会員：46名

講師：県立リハビリテーション・精神医療センター 古山るり子氏

- 「欧米諸国のリハビリテーション事情」 参加会員：49名

講師：秋田大学大学院 進藤伸一氏

- 「臨床のための理学療法研究」 参加会員：49名

講師：秋田大学医学部附属病院 畠山和利氏

(3) 第2回生涯学習講演会

- 開催日時：平成22年10月23日（土）13：25～18：10 参加費：各300円

- 「卒後教育 ～当院の新人教育プログラムを通して～」 参加会員：61名

講師：社会医療法人明和会 中通リハビリテーション病院 板橋あゆみ氏

- 「行政における理学療法の役割」 参加会員：61名

講師：横手市役所横手地域局保健センター 願法廣典氏

- 「生涯学習と理学療法の専門領域」 参加会員：64名

講師：秋田県立脳血管研究センター 皆方 伸氏

4. 県民のリハビリテーションに貢献のため関係団体と連絡し、協力する事業

1) 関係団体との連携および協力

- 秋田大学医学部保健学科、秋田県リハビリテーション研究会、秋田呼吸リハビリテーション懇話会、秋田県バリアフリーネットワークとの連携

2) 諸事業に対する講師派遣および協力

(1) 諸事業に対する講師派遣

- 秋田市保健所「体力づくり教室」・「ふれあい元気教室」、秋田県障害者スポーツ協会「初級障害者スポーツ指導員養成講習会」、日本教育クリエイト・三幸福祉カレッジ「福祉用具専門相談員講習」、介護労働安定センター「介護員基礎研修課程」、「訪問介護員養成研修2級課程講習会」（秋田県ひとり親家庭就業・自立支援センター、東北ビル管財）等

(2) 諸事業に対する後援、共催

3) 諸会議へ委員等として派遣

- 秋田県高齢者対策協議会高齢者介護部会委員、秋田県地域医療連携推進検討会地域連携クリティカルパス専門委員、秋田市介護認定審査会、秋田県介護実習・普及センター介護機器普及事業運営協議会委員、秋田県介護実習・普及センター運営委員会委員、秋田県高齢者総合相談センター運営委員会委員等への委員の派遣、潟上市障害者自立支援法における審査会委員

4) 『21世紀の医療を守る会』への協力

5) 「人にやさしいまちづくり in 秋田」の共催

- 11月27～28日に、秋田市アルヴェにて、「人にやさしいまちづくり in あきたと住まい展 第4回秋田福祉機器展」が開催された。当会として、以下の事業を行った。

- 高齢者および障害者への介助講座（ステージイベント）

- 理学療法関連のパネル展示
- 歩行補助具の展示・紹介
- パンフレットの配布
- 風船を用いての士会 PR
- 介助についての相談ブース

5. その他、この法人の目的を達するために必要な事業

(1) 管理運営に関する事務処理

理事会、総会の円滑な運営と社団法人としての諸手続きを実施

(2) 事務局機能の強化

- 庶務部、総務部、財務部の仕事について、委託先の専任事務員（常勤）と共同で行うことで、事務局各部員の負担の軽減を図った。
- 司法書士、税理士への相談

(3) 表彰者選考委員会にて、各種表彰に関する表彰者の検討を行った

- 平成 22 年度秋叙勲・勲章候補者選考にて該当者なし。
- 平成 23 年度春叙勲・勲章候補者選考にて該当者なし。
- 平成 23 年度秋叙勲・勲章候補者選考にて該当者なし。
- 平成 22 年度環境・保健事業功労知事表彰候補者選考にて該当者なし。
- 第 29 回協会賞候補者選考にて該当者なし。
- 医療功労賞候補者選考にて該当者なし。

(4) 公益法人制度改革への対応

- 定款細則案、理事の職権限規定案、役員報酬規程案等の作成
- 申請書作成
- 県主催等の説明会に参加
- 県総務課に相談 6 回、司法書士に相談 1 回
- 公益社団法人移行に伴う組織体制の検討

(5) 役員選挙に関すること

- H22 年度(社)日本理学療法士協会代議員選挙
- H22 年度秋田県理学療法士会役員選挙
- H22 年度(社)日本理学療法士協会東北ブロック協議会理事選挙
(H23 年 3 月 5 日秋田県理学療法士会総会において行う。)
- 立候補の状況や選挙結果を士会ホームページに掲載した。